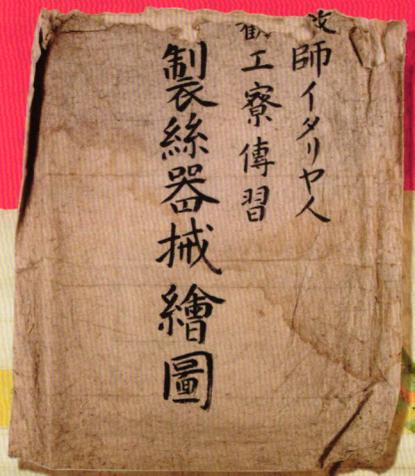


東京農工大学、

資料を未来へつなげる大学博物館で実施!!

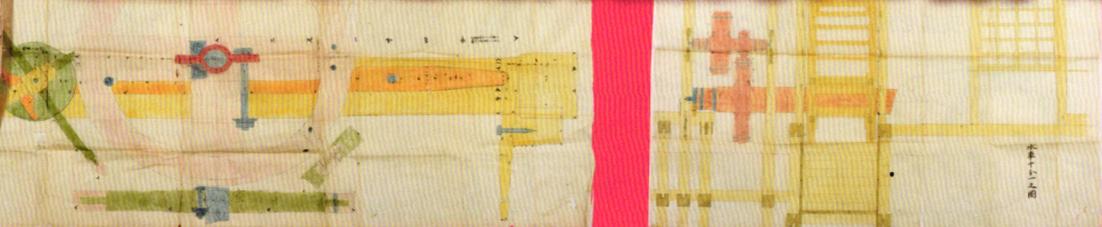
クラウドファンディング始めます!



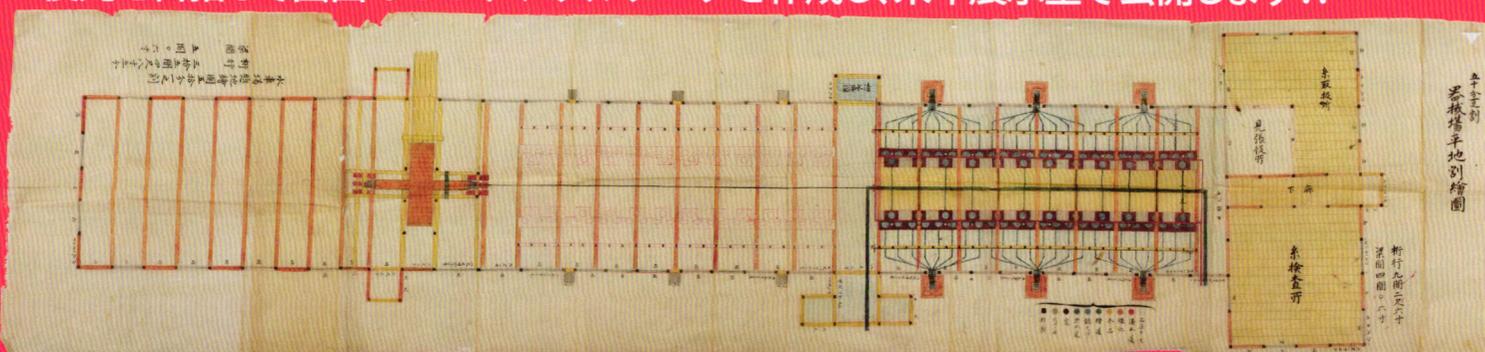
博物館に託された学術資料を守り、継承するためにクラウドファンディングによる応援をお願いします。

幻の製糸場を追え!

明治初期赤坂の勸工寮葵町製糸場を3D復元へ!



東京農工大学科学博物館で発見された明治初期の勸工寮葵町製糸場の図面を、研究者、エンジニア、大学生と協働でデジタル3D化にチャレンジ。復元を目指して図面の3Dデジタルデータを作成し、来年展示室で公開します!!



プロジェクト詳細はこちら

<https://readyfor.jp/projects/aoimachi>

募集期間

2019年2月1日(金)

～3月29日(金)



QRコードは2月1日以降
寄附サイトにつながります



東京農工大学科学博物館収蔵庫から発見された製糸場図面41点の一部です。

東京農工大学科学博物館 岡谷蚕糸博物館連携記念企画展

まゆ いと く 2019年
繭から糸を繰る ～技術の変遷と未来～ 1月5日(土)～3月30日(土)

記念シンポジウム

「勸工寮葵町製場図面発見!近代製糸技術の継承と未来」

2019年2月2日(土) 13:00～15:00

※お申し込み方法など詳細は、HPを御覧ください。

東京農工大学小金井キャンパスグリーンホール

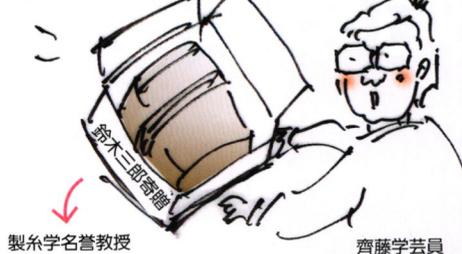
@tuat_kahaku 公式ツイッターアカウントにて博物館情報発信中!

www.tuat.ac.jp/~museum

東京農工大学
科学博物館

2017年ある日の収蔵庫整理のこと...

外は麻ヒモでくるくる巻き
中はボロボロの木箱



製糸学名誉教授

齊藤学芸員

あまりにもボロボロのため、一人で開けてはいけない雰囲気...

専門家に連絡して、中を調べることに。



東大鈴木淳先生

機械の配置、文献などから「ミュラーによるイタリア式の製糸場」であることが判明
葵町製糸場図面発見プレスリリースへ

レンガを一段一段組んだ、バラバラ漫画のような図面



高木館長

齊藤学芸員

富岡製糸工場と同じような貴重な資料であれば、クラウドファンディングで支援をお願いしてみよう!



高木館長

もし3D化がうまくいけば・・・
 3DCADでシミュレーション

3Dプリンタで模型作り



妄想中の齊藤学芸員

どうやら動き出したようだね。楽しみにしているよ。



大野学長



クラウドファンディングの実施へ つづく...

プロジェクト概要

東京農工大学科学博物館は養蚕、製糸に関する貴重資料、繊維関連のコレクションから現在の大学の先端研究まで技術の系譜を紹介しています。2017年に収蔵庫から勸工寮葵町製糸場図面が41点再確認されました。

勸工寮葵町製糸場は明治6年に現在の港区虎ノ門付近にあった製糸工場です。

図面群は近代化の系譜を明らかにする貴重資料ですが、残念ながら、各機構がばらばらのため、工場の機構の全体像をイメージすることが難しい状況です。

そこでこの資料の価値を多くの人に知っていただき、活用していただくために、デジタル画像の作成・公開と、学生やエンジニアと協働で3Dデジタル化を行いたいと思い、本プロジェクトを立ち上げました。みなさまの温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

私たちも応援してます！ みなさんもプロジェクト支援メンバーに！



東京大学大学院
人文社会系研究科・文学部教授
鈴木淳

もう一つの模範製糸場



前橋市前橋学センター長
手島仁

日本最初の洋式器械製糸
「藩営前橋製糸所」の解明に期待

前橋市では1870年(明治3)に、日本で最初に創業した洋式器械製糸「藩営前橋製糸所」の歴史的な意義を顕彰しようと、2006年から「生糸(いと)の都市(まち)前橋発信事業」を進めています。ぜひ、この意義ある事業が成功しますよう、皆様の御援助をお願いいたします。



生糸のまち前橋発信事業委員
速水堅曹研究会代表
速水美智子

キャスパー・ミュラーの
伝えた器械製糸

明治3年、前橋の地に日本ではじめて器械製糸の技術が伝わりました。教えた人物はスイス人のキャスパー・ミュラー。彼が伝えたこの設計図に基づいて器械を3D復元し、具体的な姿を現してみたいと熱望します。ぜひ応援をお願いいたします。



富岡市世界遺産部
富岡製糸場保全課 課長
結城雅則

YédoとTomioka
二つの官営製糸場

明治5年富岡製糸場操業後、翌年のウィーン万国博覧会では、富岡製糸場と勸工寮製糸場が「進歩賞牌」を、指導者であるフランス人ブリュナとスイス人ミュラーが「協賛賞牌」を受賞しました。ほぼ同時期に設立された二つの官営製糸場の比較研究が進展することを期待します。



岡谷蚕糸博物館 館長
高林千幸

わが国の製糸機械の基が3Dに！

明治初期のフランス式繰糸機や諏訪式繰糸機は岡谷蚕糸博物館に現存しますが、当時のイタリア式繰糸機を見ることはできません。今回、勸工寮葵町製糸場の設計図に基づきイタリア式繰糸機を3D化することは、わが国の製糸技術の変遷を知る上で画期的な事業と期待されます。